

### 単元構想について

1. 本質的な問い【何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」】  
各地方によって特色が異なるのはどうしてだろう？
2. 単元を貫く問い【単元を通して考え深めていく「問い」】  
どうして中部地方の産業は地域によって大きな違いがあるのだろうか？
3. 個別の問い【単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等】
  - ・中部地方はどのように3つに地域がわかれており、それぞれどのような産業が発展しているのだろうか？
  - ・どうして東海地域では重工業や様々な農作物の生産が盛んなのだろうか？
  - ・どうして中央高地ではレタスの生産や精密機械の生産が盛んなのだろうか？
  - ・北陸地方ではどうして様々な工芸品が造られるようになったのだろうか？

### 単元について

#### ○ 単元観

本単元は、学習指導要領 地理的分野 「内容 C 日本の様々な地域（3）日本の諸地域」によると、この中項目は、適切に区分された日本の諸地域を、内容のCの「(2) 日本の地域的特色と地域区分」に小項目で扱った事象を主要な考察の仕方として用い、具体的な地域的特色を捉えることから、ここで区分された日本の諸地域の数の項目からなる小項目で構成される。また、この中項目は、空間的相互依存関係や地域などに着目して、地域的特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。

本単元で扱う中部地方は、地域ごとに様々な特徴を持つ産業が多く存在しており、それらの産業が空間的相互依存関係によるつながりや、地域的特色などの様々な地理的事象によって成り立っていることを多面的・多角的に考察し、気づかせていくことができる単元である。

また、世界シェア1位のトヨタ自動車の生産地が存在することや、YAMAHA など、生徒が知っている大企業もあることから、生徒にも身近に感じることができるとともに、前単元の「(2) 日本の地域的特色と地域区分」と関連させながらも中部地方の自然環境や産業の成り立ちについて考察することができる単元である。

#### ○ 生徒観

本学級の生徒は、学習課題に対して概ね意欲的に取り組もうとしている生徒が多い。社会的事象を理解することを苦手としている生徒が比較的多いが、資料を読み取る力を身に付けつつある。また、知識や情報を関連付けたり、活用して表現したり力はまだまだ身に付けていく必要がある。

下記は、本校の2年生で6月に実施した社会科に関するアンケートの結果である。

アンケート項目	本学級（肯定的評価の割合）
1. 社会科は難しい教科だ。	80.6%
2. 社会科は頑張って学習をしたい教科だ。	74.1%
3. 先生の説明が中心の授業が好きだ。	35.4%
4. あるテーマについて調べたり、まとめたりする授業が好きだ。	58.0%
5. 友達同士で話し合っってまとめる授業が好きだ。	93.5%
6. 授業の中で自分の考えたことが、実際の生活とつながっている、生活に生かされていると感じることがある。	51.6%

アンケートの結果から、まず社会科に対して難しい印象を持つ生徒が多い。社会科は暗記かつ、覚えなないといけないという生徒の意見が多く、覚えなないといけないという気持ちが、社会科を難しい教科と捉えてしまう要因の一つとなっている。しかし、「社会科を頑張って学習したい」と肯定的に回答をした生徒は多い。また、「友達同士での学び合いにおいて学習を進める授業が好きだ。」といった項目の肯定的な回答が多く、教え合いをすることで理解しやすくなることが理由と考える。

したがって、ペアワークや班活動、全体発表といった意見交流などの場面を設定したうえで、個人の表現活動を仕組むことが効果的であると考え。さらに、わずかな差ではあるが社会科が実生活に生かされているということで、身近なものや、身近なものとのつながりをもとに思考をできる問いの設定が効果的と考える。

### ○ 指導観

指導に当たっては、令和5年度の安芸郡教育研究会社会科部会では、研究テーマとして「単元を貫く問いに向かって、社会的な見方・考え方を働かせる社会科学習の創造～重くて深い学びをめざす単元開発を通して～」と設定している。

そこで、本単元では、重くて深い学びを目指すためにやむにやまない問いである、Compelling Question (以下、CQ) として、「どうして中部地方の産業は地域によって大きな違いがあるのだろうか？」と設定する。また CQ を達成するための個別の問いとして、Supporting Question (以下、SQ) を設定し、また、SQ を達成するための活動内容である Performance Task (以下、PT) を設定し学習を進める。地図や地形図、雨温図などの資料を活用しながら中部地方の自然環境を理解させるとともに、産業に着目し、中部地方の地域ごとの産業の分布図などを比較することで地域によって産業の特色に大きな違いがあることに気付かせ、地域ごとになぜそのような違いがあるのかを考えさせる。その際に、各個人で根拠をもって自分の意見をまとめ、表現させる。自分の考えを整理する。また、他者に伝わりやすいようにするために、タブレットを用いて可視化できるようにし、整理分析をしやすいようにする。また、個人思考の時間、班活動と全体の場合と意見交流の場を設け、「東海地域では自動車産業などの重工業が発展しているのか」と SQ を設定し、地域ごとの雨温図や交通網、また地形図などの資料を用いて地方ごとに様々な視点から産業の発展を考えさせるとともに地域的特色や、相互依存関係など様々な社会的事象が関係していることに気が付かせる。また、毎時間振り返りに、本時の問いに対する自分の考えをまとめさせ、単元を貫く問いに対する考えをまとめさせる際の補助となるようにする。

### 単元の見目標

- 中部地方の地域的特色や地域の課題を理解することができる。【知識・技能】
- 中部地方について①～⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。【思考・判断・表現】
- 中部地方についてより良い社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

### 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ②学習指導要領中項目「(3) 日本の諸地域」の①～⑤までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこに生ずる課題を理解している。	①日本の諸地域において、それぞれ学習指導要領中項目「(3) 日本の諸地域」の①～⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①日本の諸地域について、より良い社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。

単元名【日本の諸地域(中部地方)】(中学校 2年)			
学習指導要領との対応と、見方・考え方	C「日本の様々な地域」(3)日本の諸地域 「空間的相互作用」「地域」		
探究に向けた環境づくり	中部地方で生産しているものが身のまわりにどれくらいあるのか？		
CQ	どうして中部地方の産業は地域によって大きな違いがあるのだろうか？		
SQ1	SQ2	SQ3	SQ4
中部地方にはどのような特色があるのだろうか？	どうして東海地域では重工業や様々な農作物の生産が盛んなのだろうか？	どうして中央高地ではレタスの生産や、精密機械の生産が盛んなのだろうか？	北陸地方ではどうして様々な工芸品が造られるようになったのだろうか？
PT	PT	PT	PT
中部地方は日本のどんな位置にあり、どのような自然環境や産業の特徴を持つのかを資料から理解できる。	東海地域の産業の発展にはどのような背景があるのかを資料から読み取りまとめることができる。	中央高地の産業の発展にはどのような背景があるのかを資料から読み取りまとめることができる。また抑制栽培について理解できる。	北陸地域の産業の発展にはどのような背景があるのかを資料から読み取りまとめることができる。また、伝統産業と地場産業を理解できる。
資料	資料	資料	資料
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳</li> <li>・東海の産業分布図</li> <li>・中央高地の産業分布図</li> <li>・北陸の産業分布図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集(新学社) 中京工業地帯・東海工業地域の工業分布</li> <li>・雨温図</li> <li>・貿易港ランキング</li> <li>・瀬戸内沿岸部の産業分布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集(新学社) レタスの栽培 農業分布 諏訪湖周辺の工業の変化</li> <li>・雨温図</li> <li>・中国地方の山間部の産業分布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集(新学社) 伝統産業と地場産業の分布 農業分布</li> <li>・雨温図</li> <li>・中国地方山陰の産業分布</li> </ul>
総括的PT	中部地方で生産されている製品を一つ選び、スライドを作成し、同じ中学生にPRをする。		
発展的PT	北陸の伝統工芸品をつくるなどの体験型旅行プランを考えよう。		
社会に向けた知的な行動	私たちの地元の地場産業や伝統産業に関わるPR動画を作成し、発信しよう。		

## 単元計画（全6時間）

時間	学習活動	重点	記録	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部地方の場所を地図で確認し、知っていることを自由に出す。</li> <li>地域区分や地形について資料をもとに読み取る。</li> <li>中部地方でつくられている商品を見て、生産地ごとに振り分ける。</li> <li>振り分けた商品の特征から、地域によってつくられているものの規模などの特徴から課題を設定する。</li> </ul>	知		<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>振り返り</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>CQ:</b> どうして中部地方の産業は地域によって大きな違いがあるのだろうか？         </div>				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>東海地域ではどのような産業が発展しているのかを振り返る。</li> <li>その産業が発展している理由を、根拠となる資料を選択し、スライドにまとめ説明する。</li> <li>広島など中国地方と比較をし、違いや共通点を見出す。</li> </ul>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライド</li> <li>振り返り</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央高地ではどのような産業が発展しているのかを振り返る。</li> <li>その産業が発展している理由を、根拠となる資料を選択し、スライドにまとめ説明する。</li> <li>広島など中国地方と比較をし、違いや共通点を見出す。</li> </ul>	思		<ul style="list-style-type: none"> <li>スライド</li> <li>振り返り</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸地域ではどのような産業が発展しているのかを振り返る。</li> <li>その産業が発展している理由を、根拠となる資料を選択し、スライドにまとめ説明する。</li> <li>広島など中国地方と比較をし、違いや共通点を見出す。</li> </ul>	思		<ul style="list-style-type: none"> <li>スライド</li> <li>振り返り</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部地方で生産されている製品を一つ選び、スライドを作成し、PRをする。</li> </ul>	主		<ul style="list-style-type: none"> <li>スライド</li> <li>発表</li> <li>振り返り</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのほかの産業として、観光業に注目し、中部地方の観光地を調べ、大単元終了後の旅行プラン作成の材料を集める。その中で、北陸の伝統工芸品をつくるなどの体験型旅行プランを考えよう。</li> </ul>	主		<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り</li> <li>単元まとめシート</li> </ul>

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 中部地方が持つ特徴と産業の特色に関する課題を設定することができる。

### (2) 本時の評価規準

- 本時は評価しません。

### (3) 本時の学習展開（1時間目／全6時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て	◎評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 日本地図から中部地方の位置の確認  2 中部地方について知っているものを班ごとにJamboardに出す。(1分) ・愛知県 ・トヨタ自動車 ・日本アルプス	◇クラスルームでジャムボードを開かせ、班全員が開いたら、班長が挙手をして知らせる。また、班ごとにページを分けておく。 ◆どんな都道府県があるかを助言し、その都道府県で知っていることなどをあげさせる。	
SQ:中部地方にはどのような特色があるのだろうか？		
3 中部地方の地形について着目をし、資料集 P.57 の作業マップをする。(3分)  4 地形に関しての確認テスト(2分)  5 中部地方の産業に着目しする。 ○ 次の製品はすべて中部地方でつくられているものだが、中部地方の中でもどこ、またはどのあたりでつくられているのだろうか？ レタス→中央高地 自動車→東海            など  6 発表 資料をみて答え合わせをする。  7 単元を通した課題の設定	◇資料集を開かせるときに、班員全員開いたら班長に挙手をさせる。  ◆産業の分布図でどのようなマークがあるのかを読み取らせる。  ◇生産されている製品を地域ごとに比較し、それぞれ違いがあることに気	
CQ: どうして中部地方の産業は地域によって大きな違いがあるのだろうか？		

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の反応</p>	<p>◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法)</p>
<p>8 振り返り</p>		<p>ア① (振り返りシート)</p>
<p><b>本時のゴールの見通し</b></p> <p>A：中部地方は、北陸、中央高地、東海に分かれている。中央高地には日本アルプスがあり、標高が高いことから気温が低い。また、東海では温暖であり、トヨタなどの自動車産業などの重工業が発展しているのに対し、北陸は冬は寒く、伝統工芸品や軽工業製品が多く生産されている。</p> <p>B：中部地方は、北陸、中央高地、東海に分かれている。東海では重工業が発展しており、中央高地では日本アルプスがあり、北陸は伝統工芸品が生産されている。(それぞれの地域の特徴を書いていけばよい。)</p> <p>配慮が必要な生徒： 中部地方は三つの地域に分かれていることを明確にさせ、資料から、どのような商品が生産されているのかを、一つ一つ確認させて、特徴を抑える。それらの特徴を文章でまとめさせる。</p>		
<p><b>★めざす生徒の姿</b></p> <p>中部地方で生産されている製品が私たちのみの周りにもたくさんあることに気が付き、私たちの生活の中に中部地方と関わりがあることから、中部地方のどんなところでどのような製品が作られており、また、そもそも中部地方とはどのような地方なのかを捉えている。次回以降の各地域ごとの産業の発展にどのような地域的な特色が関連しているかにつなげたい。</p>		

(4) 板書計画

<p>課題 中部地方にはどのような特色があるのだろうか？</p>	<p>小テスト解答 ①信濃川 ②庄内平野 ③飛騨山脈 ④木曾川 ⑤越後山脈 ⑥木曾山脈 ⑦甲府盆地 ⑧岡崎平野 ⑨赤石山脈</p>
<p>めあて 中部地方にはどのような特色があるのだろうか？</p> <p>中部地方 東海 ・自動車産業 ・中京工業地帯 ・みかん</p> <p>中央高地 ・日本アルプス ・レタスの栽培 ・精密機械</p> <p>北陸 ・メガネフレーム ・菓 ・織物</p>	